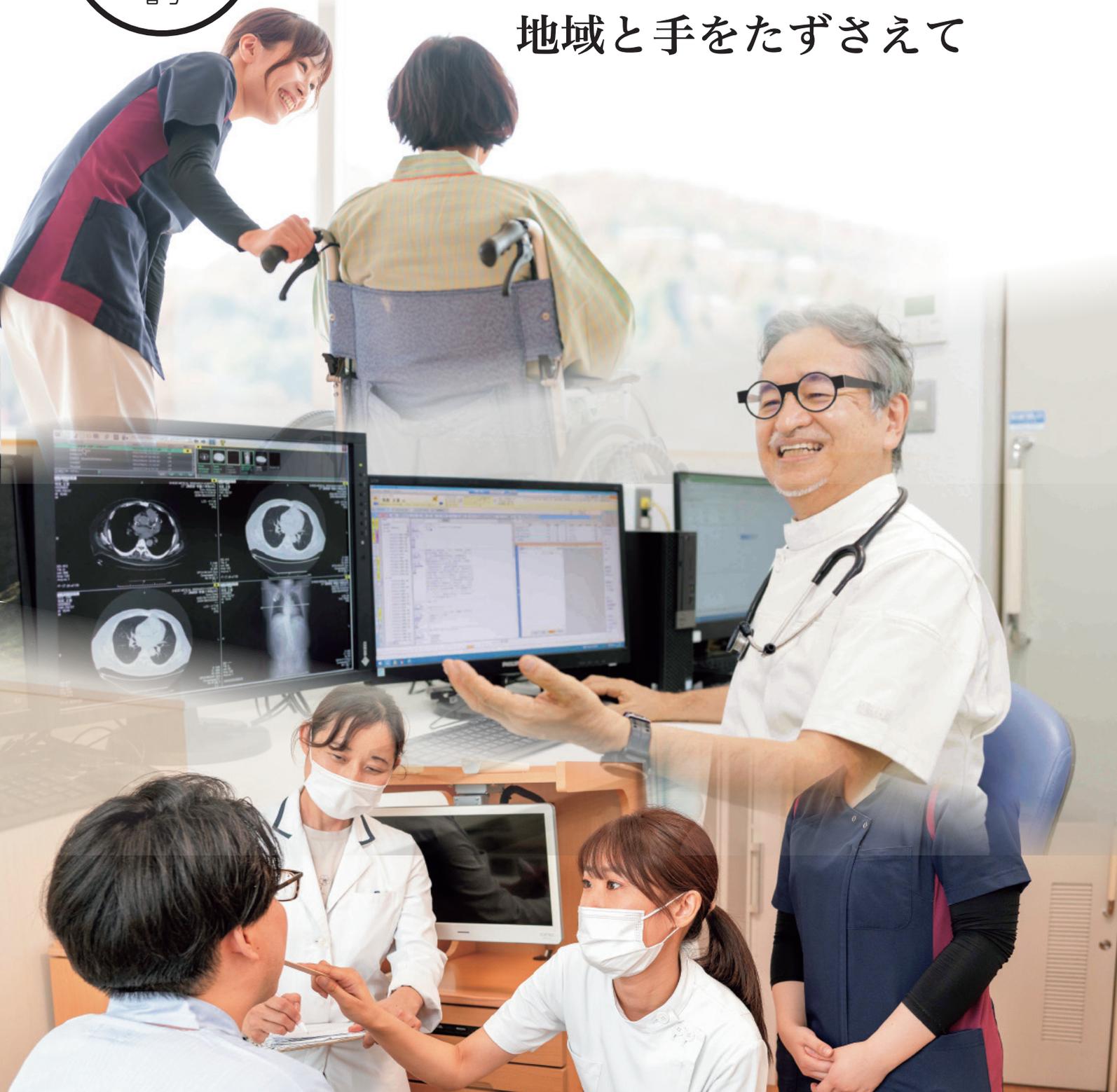


Harmony

vol.199

2024
春号

高齢者医療の未来を見据え
地域と手をたずさえて





地域包括ケアシステムの 現在地（いま）とこれから

「どんなふうに歳を重ねて、どのように暮らしたいですか?」と尋ねられたら何と答えますか? 答えは千差万別、人それぞれでしょう。ただ「住み慣れた地域で長く、生活したい」と考える人が多いのではないのでしょうか。

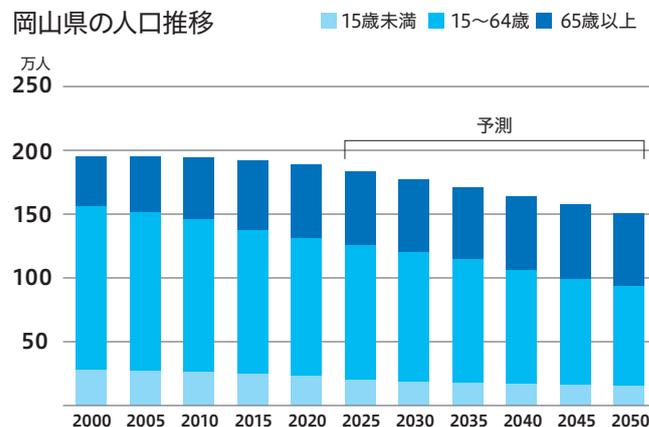
重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」。1980年代に始まり、地域内で助け合いながら生活できる体制づくりが進み、団塊の世代が75歳以上となる「2025年」に向けて推進が図られてきました。

今後も生産年齢人口は加速度的に減り、現役世代が流出していきますが、特に私たちが位置する地方ではますますそうした状況が深刻化し、高齢者数

のピークは団塊ジュニア世代が高齢者となる「2040年」とされています。

まさに過渡期である現在、医療や介護の機能は大きな変化の時を迎えています。

岡山県の人口推移



出典：総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口
総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

重井医学研究所附属病院の 地域包括ケアシステムの取り組み

「ときどき入院、ほぼ在宅へ」が当たり前の時代に

私たちはこれまで培った医療技術・知識に加え、高度急性期病院やクリニック、介護施設など、他機関とのさらなる連携や地域の情報収集を積極的に進め、地域の実情に応じた暮らしの質の向上に取り組んでいます。

「地域包括ケアシステム」における“自立”とは、他の人の助けなしに、自分の力だけで物事をおこなうことではありません。自分に足りないところを補ってくれる人たちをできるだけ多くつくって、自分が過ごしたいように暮らすことが重要です。

従来のように「病気になったらずっと入院」ということではなく、「病気を治し、住み慣れた自宅で在宅医療・介護を受ける」現在すでにそういった方が増加しています。在宅医療・介護といえば、本人や家族の負担増を想像されるかもしれませんが。しかし、かかりつけ医のクリニックや訪問看護、居宅サービス、行政や居住系施設などさまざまなサポーターが支援をおこない、患者さんの負担を軽くするために体制が整いつつあります。

私たちも法人内で多職種による支援ができる体制を整えています。



地域包括ケアシステムの 中心が「地域包括ケア病棟」です。

地域包括ケア病棟へは、どんなとき、どんなふうに入院するの？



当院受診中の患者さん

- 当院に外来通院されている、あるいは訪問診療を受けているなど、もともとの病気の悪化や肺炎などの合併症で入院が必要となった。

クリニックからのご紹介/ 在宅療養中の患者さん

- 体調を崩され、一時的に入院が必要な状態と判断された。
- 在宅療養中に症状が悪化し、治療やリハビリが必要になった。
- 在宅で療養されており、介護・介助にあたるご家族等の病気・出産・冠婚葬祭等の事情で介護・介助が困難になった場合や、介護者の身体的・精神的な疲労により一時的な休息をとりたい。



介護施設からのご紹介/ 在宅療養中の患者さん

- 体調を崩され、一時的に入院が必要な状態と判断された。
- 介護施設で食事中、食べ物が誤って気道に入る嚥下障害の症状が現れ、治療とリハビリが必要になった。
- 足腰が弱くなり、歩行が難しくなったのでリハビリがしたい。



高度急性期病院からのご紹介

- 救急車で運ばれ専門的な治療により落ち着いた状態となったものの、すぐに在宅や施設へ移行するには不安がある、またリハビリや経過観察が必要なため入院を希望された。
- 介護認定が下りるまでの期間、リハビリを続けながら住宅改修や施設入所などの準備が整うのを待ちたい。



癒し+支える 当院がおこなった退院支援の実例

患者さんの症状や取り巻く環境などによって、支援のカチはさまざまです。一部をご紹介します。



Aさん (80歳・女性)
夫と二人暮らし

自宅で発熱、食欲低下あり
クリニック受診

地域包括ケア病棟

元々自宅でデイサービスを利用していた。誤嚥性肺炎に対する入院加療目的で、クリニックからの紹介で当院に入院。当院で誤嚥性肺炎に対する治療をおこない、病状は安定。しかし治療中に日常生活が思うようにおこなえなくなった。

退院支援

ご家族と在宅スタッフへ状況を伝えたと、ご家族より「少しでも家で過ごさせてあげたい」との思いを伺ったためロングショートステイの活用を提案。1ヶ月に2泊3日はご本人とご家族がご自宅で過ごせる体制を整えた。

ご自宅に退院

退院後訪問の際にご家族が「本人と過ごせるのもあと少しだろうから頑張りたい」と笑顔で話をされていた。

担当者コメント

入院前と状態が変わってしまっても、ご家族と共に過ごす時間はかけがえのないものです。できるだけご本人の住み慣れた家での生活を継続できるような支援をしています。



Bさん (50歳・男性)
両親と同居

脳梗塞で高度急性期病院へ搬送

地域包括ケア病棟

高度急性期病院で手術を受け、治療を終える。左半身麻痺や高次脳機能障害が残り、リハビリ目的で当院に転院。リハビリを継続したものの軽度の後遺症が残り、職場復帰は難しくなった。

退院支援

ご本人は「社会復帰をしたい」思いがあり、ご両親も本人の思いに沿いたい意向があった。身体障がい者手帳と障害福祉サービス利用を申請し、就労継続支援の利用へつながった。

ご自宅に退院

ご家族より「ご本人が楽しそうに就労事業所へ通っており、社会とのつながりを大切にしたい」と連絡をいただいた。

担当者コメント

ご本人がどのような生活を送りたいか、その思いをお聴きし一緒に考えることで、その人らしい生活の実現につながっていくのだと感じました。今後もご本人の「思い」が活きる支援をしていきたいです。



Cさん (85歳・男性)
妻と二人暮らし

胃がん・多発骨転移
緩和目的にて入院

一般病棟

元々外来透析に週3日タクシーで通っていた。全身に痛みがあり家での生活が難しくなった。医師・看護師・薬剤師による緩和ケアチームが介入し、疼痛コントロールをおこなった。

退院支援

ご本人は入院時から「家に帰りたい」思いが強く治療の効果がありご本人の思いをかなえるために、早急に介護保険の申請をおこない在宅で生活ができるように在宅サポート担当者たちと連携し、体制を整えた。

ご自宅に退院

訪問看護や外来透析時に継続的に経過観察。「透析通院ができる限り在宅生活を続けたい」とのご本人の希望に沿って過ごされている。

担当者コメント

がん末期のケースは退院時期を逃さないことが大切です。そのため早期にご本人やご家族の意向、医療者の思いをつなぎ合わせ、院内外の医療・介護チーム全体で協働し、支援しています。

人にやさしい 入退院支援チーム

入院前から退院後まで支援を続けます

患者さんの病状や必要な支援は十人十色です。治療を受けて退院した後も医療・介護において様々なサポートが必要になる患者さんは少なくありません。当院では入院前、入院後の早期に患者さんやご家族から、スタッフがじっくりお話をうかがい、

患者さんが退院した後も住み慣れた地域や安心できる場所で生活が送れるよう支援をおこないます。「重井に相談して良かった」と思ってもらえるよう、これからも、患者さんやご家族が望む暮らしをサポートしていきます。



多職種カンファレンス



診察



自宅訪問

あなたのためのチーム



管理栄養士による
栄養指導



在宅スタッフと打ち合わせ

今後のよりよい生活のため、院内外の様々な職種と連携し一人ひとりに寄り添った支援をおこないます。
ご不安やお困り事はお気軽にお問合せください。



集団リハビリ



担当ソーシャルワーカーと面談



個別リハビリ

ついに第40回!

公開講座今年もやります!

今年度も公開講座を岡山市南区妹尾にある西ふれあいセンターで開催します。今年度は全4回の開催を予定しています。

第1回目は院長の真鍋が「幸せに長生きできる考え方と生活習慣～寝たきりにも認知症にもならず、幸せな人生を送りましょう～」と題して、頭と身体を適切に使い、人と楽しくお付き合いすることによって、寝たきりにも認知症にもならず、幸せに長生きすることについて講演いたします。

ご予約はお電話か二次元コードを読み込んでいただきフォームから必要事項を入力ください。今年度も皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

すこやかに生きるために その40

第1回 **6.22** **2024**
[Sat]
受付開始 13:30~
14:00-15:15



発熱外来の対応が変わりました

発熱外来を受診される際、これまでは来院前にお電話をしていただき、ご予約をお願いしておりましたが2024年2月よりご予約が不要となりました。今後は下記の通り受診方法が変更となります。



成人

当院ホームページより
オンライン問診を入力

ご来院後、駐車場で車内から
病院へお電話ください。

車内で検査

病院内で診察

小児

ご来院後、病院に入ってください
総合案内にて受付

診察

※対応方法につきましては順次変更となる可能性がございますので、最新の情報につきましてはホームページをご確認ください。

外来診察予定表

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前	糖尿病 腎臓・肝臓	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 大森 一慶 (総・糖)	大森 一慶 (総・糖・腎)	荒木 俊江 (総・糖) 渡邊 真也 (総)	休 診	十川 圭司 (総・糖)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 荒木 俊江 (総・糖) 渡邊 真也 (総)
		腎臓	福島 正樹 (腎)(紹介・初診のみ)	瀧 正史 (総・腎)	福島 正樹 (腎)		福島 正樹 (腎)	福島 正樹 (腎)
	消化器	藤本さおり (総・消)	西山 仁樹 (消)	山本 直樹 (総・消)	山本 直樹 (総・消) 岡 優子 (総・消)		岡 優子 (総・消)	
	循環器	—	近藤 直樹 (循)	—	—		—	
	呼吸器	丸川 将臣 (総・呼)	—	丸川 将臣 (総・呼)	—		—	
	—	—	—	—	—		—	
★総:総合内科 腎:腎臓 肝:肝臓 糖:糖尿病 消:消化器 循:循環器 呼:呼吸器 ★福島正樹への新規ご紹介につきましては予約が必要です								
午後	一般外来	交代医師	交代医師	交代医師	休 診	交代医師	交代医師	
	専門外来 ☎要予約	—	(糖尿病・腎臓病) 真鍋/荒木 (呼吸器内科・一般) 丸川 将臣	—		—	—	
健診・検診 ☎要予約		西山 仁樹	西山 仁樹	西山 仁樹	休 診	藤本さおり	西山 仁樹	
内視鏡検査	午前 (上部消化管) ☎要予約	岡 優子	山本 直樹	藤本さおり	休 診	西山 仁樹	岡山大学医師	
	午後 (下部消化管) ☎要予約	岡 優子	山本 直樹	山本 直樹		藤本さおり	—	
小児科	午前	虫明 亨祐 河野 美奈	虫明 亨祐 今村 昌司	河野 美奈 今村 昌司	休 診	虫明 亨祐 河野 美奈	瀧 正史 虫明 亨祐	
	午後	交代医師	交代医師	交代医師		交代医師	交代医師	
小児療育	午前 ☎要予約	今村 / 河野	今村 / 河野 / 川田	今村 / 川田	休 診	今村 / 河野	今村 / 川田	
	午後 ☎要予約	今村 昌司	今村 / 川田	今村 / 河野 / 川田		今村 昌司	今村 / 川田	
★初診の方は火・水の午前中のみです								
外科	午前	平松 聡	平松 聡	平松 聡	休 診	平松 聡	平松 聡	
ダイヤライシス アクセス 専門外来	午前/午後 ☎要予約	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文		櫻間 教文	—	
★初診の方は月・水・金のみです ★時間外でも可能な限り対応いたしますので電話でお問い合わせください								
泌尿器科	午後 ☎要予約	—	—	—	休 診	岡山大学医師 13:30~16:00	—	
皮膚科	午後	—	太田 知子	太田 知子	休 診	—	—	
眼科	午後	交代医師 第4日曜日13:30~16:00	—	—	休 診	—	—	
脳神経内科	午後 ☎要予約	—	—	—	休 診	—	森 仁	

受付時間

午前 8:30~12:00
午後 13:30~16:30

再診の方は、再来受付機にて8:00より受け付けています

休診日 木曜・日曜・祝日

急病の場合は、あらかじめお問い合わせください

交通のご案内

- 「重井附属病院」行き終点下車
- 岡電バス
 - 天満屋バスセンターから ▶ 約40分
 - 岡山駅東口バスターミナルから ▶ 約30分
- タクシー
 - JR庭瀬駅から ▶ 約10分
 - JR妹尾駅から ▶ 約10分

駐車場 140台 当院ご利用の方は、無料

